

[PHP版]監視モニター I

初期化:どんなものか使ってみよう

[PHP版]監視モニター初期化

ビジュアル監視の初期化の必要性

監視アプリを正常に動作させるため、動作環境の整合性を保全する

初期化実施のタイミング

OSおよび監視アプリに必要な関連ソフトのインストール時

監視アプリのインストールハードウェアの変更時

データベース再構築時

監視アプリおよび関連ソフトの移行時

その他、必要に応じて実行

初期化する手段

変数、パラメータを設定、初期化アプリを実行する

難易度

初期化に必要なPHPパッケージインストールが出来れば構築出来ますが
トラブル発生時の対応にはPHPおよびVBSプログラミングの知識も必要です
また、カスタマイズには次の知識が必要です

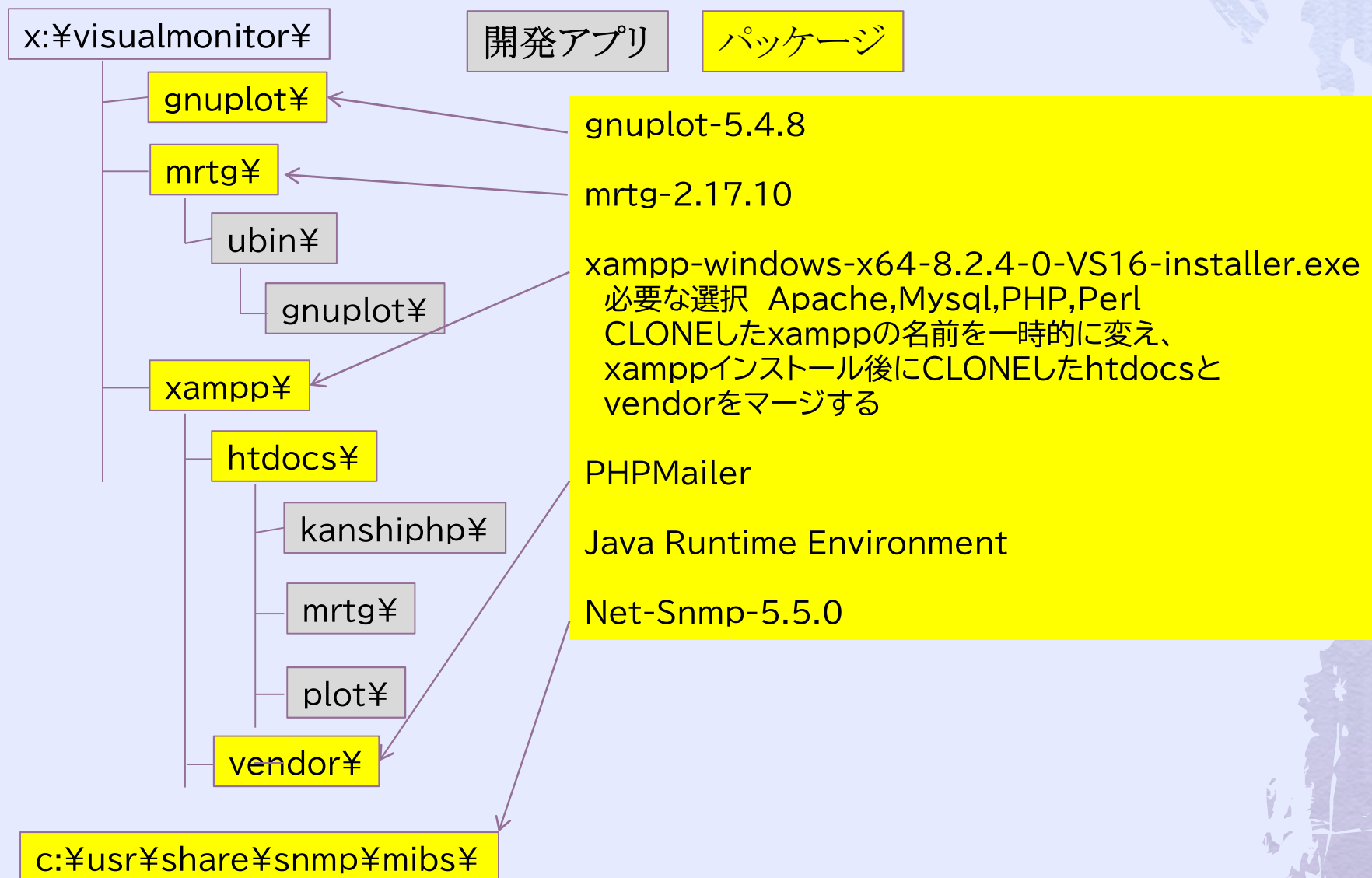
snmpの知識

監視およびグラフ取得する場合は、監視対象にsnmpマネージャと
snmpエージェントサービスが必要です

メールの知識

イベントをメールサーバで送信するためのメールサーバーの
構築、設定が必要です、但し認証なしの25ポートまたは
SMTP認証の587ポートのサーバがあれば利用出来ます

[PHP版]監視ディレクトリ構成



[PHP版]監視システム構築手順

1. ディレクトリ作成またはgithubからCLONE
2. パッケージインストール
3. 開発アプリをコピー
4. 変数、パラメータ設定
5. 初期化アプリで初期化
6. 最初のログイン
7. 構築後の機能制限

[PHP版]監視システム構築手順

1. ディレクトリ作成またはgithub からCLONE
任意の場所にディレクトリ構成と同じディレクを作成するか、
githubからCLONEしたものを任意の場所へ移動させる
(private)のCLONEの場合は、ブラウザでのサインインでユーザーIDとパスワードが必要
2. パッケージインストール
動作確認に使用したパッケージ
 - gnuplot-5.4.8
¥visualmonitor¥gnuplotへ展開
 - mrtg-2.17.10.zip
¥visualmonitor¥mrtgへ展開
 - xampp-windows-x64-8.2.4-0-VS16-installer.exe
apache,php,mysql,perlを使用する
¥visualmonitor¥xamppへ展開
 - 注:インストール先は空のディレクトリの条件の為、CLONEした場合
xamppを別名で保存しインストール後、htdocsとvendorをマージする
 - PHPMailer
¥visualmonitor¥xampp¥htdocs¥vendorへ展開
 - Java Runtime Environment
JavaScriptで使用する
 - vbsでmysqlアクセスに使用する
mysql-connector-odbc-noinstall-8.1.0-winx64.zip
 - Net-Snmp
Net-Smp-5.5.0-2.x64.exe
3. 開発アプリのコピー
git CLONEで構成した場合は入っているので、コピーは不要

[PHP版]監視システム構築手順

4. 変数、パラメータ設定

PATH変数に追加

- x:¥visualmonitor¥xampp¥php
- x:¥visualmonitor¥xampp¥gnuplot¥bin
- x:¥visualmonitor¥xampp¥perl¥bin
- x:¥visualmonitor¥xampp¥mysql¥bin

開発アプリ変数

- x:¥visualmonitor¥xampp¥htdocs¥kanshiphp¥vmsetup¥kanshiphp.ini
- vpath_php = “x:¥visualmonitor¥xampp¥php¥php.exe”
- vpath_kanshiphp = “x:¥visualmonitor¥xampp¥htdocs¥kanshiphp”
- vpath_mrtghome = x:¥visualmonitor¥xampp¥htdocs¥mrtg
- vpath_plothome = x:¥visualmonitor¥xampp¥htdocs¥plot
- vpath_autoload = “x:¥visualmonitor¥xampp¥vendor¥autoload.php”
- vpath_apache = “x:¥visualmonitor¥xampp¥apache”
- vpath_mrtgbase = “x:¥visualmonitor¥mrtg”
- vpath_xampp = “x:¥visualmonitor¥xampp”

Mysql関連変数

- x:¥visualmonitor¥xampp¥htdocs¥kanshiphp¥vmsetup¥mysqlsetup.cfg

[mysql]

- kanshi_host=“localhost”
- kanshi_user=“kanshiadmin”
- kanshi_pass=“kanshipass”
- ×kanshi_db=“kanshi”

注:順序は変えないこと

- … mysqlインストールホスト
- … mysql ユーザー
- … mysqlユーザーパスワード
- … DB名(変更不可)

[PHP版]監視システム構築手順

5. 初期化アプリで初期化 初期化するもの

Ommysql 監視アクセスユーザ、パスワード、DB、テーブル作成、初期データ挿入

注意:mysql -u root -skip-passwordが可能であること

OmrtgのWorkDir設定

注意:cfgは、x:¥visualmonitor¥mrtg¥newmrtg.cfgを使用する

コマンドプロンプトで初期化実行

x:¥visualmonitor¥xampp¥htdocs¥kanshiphp¥vmsetup>

php init-mysql.php

下記エラーが出た場合は、Net-Snmpをインストールして下さい

MIB search path: C:/usr/share/snmp/mibs

Cannot find module (IP-MIB): At line 1 in (none)

...

php init-mysqltbset.php

php init-mysqlinsert.php

php init-workdir.php

php init-instcheck.php

… 同日に2回実行できません

パッケージパラメータ修正

○xampp phpのphp.ini extension=snmp 有効化

○apacheのログをローテイトさせる為、httpd.confを下記部分を変更

#ErrorLog "logs/error.log"

ErrorLog "| bin/rotatelog.exe logs/error_%Y%m%d.log 86400 540"

#CustomLog "logs/access.log" combined

CustomLog "| bin/rotatelog.exe logs/access_%Y%m%d.log 86400 540" combined

[PHP版]監視システム構築手順

6. 最初のログイン

xamppでapache,mysql起動、<http://localhost>でapache起動確認
確認出来たら、
ログイン

<http://localhost/kanshiphp/login.php>

user:admin password:manager

7. 構築後の機能制限

○メール送信は出来ない

メニュー「メール設定:送信」

○ホスト死活監視は、「ping監視」のみ

メニュー「監視ホスト追加」「監視ホスト修正」の死活

○グラフ関連は出来ない

メニュー「リソースグラフ」「プロットグラフ」「プロットログ」